「みどりがおか」



令和6年5月31日(金) 第26号(文責:安藤真二)

「勝ち負け」

スポーツの試合は、そのほとんどにおいて、勝ち負けが決まる。昨日のある試合もそうだった。せっかくリードしていたのにそのあと追いつかれ、逆転。最後の最後にあとひと踏ん張りというところで、攻めきれなかった。「負け」が確定した。



(飛行機雲 延岡市緑ヶ丘 2024.5.17)

この試合のように、勝ち負けにこだわることはよくあること。あそこで、あの選手がこうしていれば……。といっても、お互い真剣勝負しているわけで、結果がいつも期待どおりとは限らない。

相手と自分を比べてしまうと、勝ち負けを気にしてしまうことになる。たとえば、今回のテストでどっちができたか?でもよく考えたら相手の存在があったから勝ち負けが決まったのである。こんなことを続けていくと、お互いに疲れてしまう。終わらないだろう。



(夜明け前 延岡市出北 2024.5.16 5:10am)

どうして、勝ち負けにこだわるのか?それは、私を「評価してほしい」「褒めてほしい」「愛してほしい」などの欲求があるから……だろう。



(トウワタ 延岡市緑ヶ丘 2024.5.15)

「評価してほしい」「褒めてほしい」「愛してほしい」などの欲求は、裏を返せば、「評価されていない」「褒めてもらえない」「愛されていない」自分がいるということだろう。自分に自信がないからだろう。

自信とは、自分を信じること。そう、勝ち負けなんて大したことではない。



(タンポポ 延岡市出北 2024.5.15)